



島教協

《すべては「子どもたちのために」》 情 報

http://
www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 曾田史郎

No.673

年頭所感

会長 吉田 修

新年明けましておめでとうございます。島教協会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと拝察申し上げます。

今年もたくさんさんのドラマが繰り広げられた箱根駅伝は、多くの会員の皆様もテレビで観戦されたことと思います。私ももちろん見ましたが、箱根駅伝以上に今年私が注目してテレビ観戦していたのが、ニューイヤ―駅伝です。というのは、昨年末のテレビでニューイヤ―駅伝に出場する糟谷選手のことを知ったからです。糟谷選手は長距離の名門駒沢大学の出身です。箱根駅伝で三度の優勝経験を持ち、社会人になってからもチームの主力として活躍していました。しかし二〇一三年の春に体に異変を感じ、検査を受けると悪性リンパ腫と判明しました。告知を受けた二週間後に入院し、八時間もの大手術。その後は抗がん剤による副作用との長い戦い。きつといういろいろな思いが沸き起こり、悩み、苦しみ、投げやりな気持ちにもなったのではないかと思います。そんな糟谷選手は、病室で見ていた世界陸上二〇一三モスクワ大会の女子四〇〇mで、予選、準決勝と勝ち抜き、決勝にまで進んだジャマイカ代表のN・ウィリアムズ・ミルズ選手が、実は乳がんを克服して出場していることを知りました。この選手が



がんから戻ってきたと言われた瞬間に、一気に目が覚めて、「次は俺の番だ」と心に火が付いたそうです。

その糟谷選手、ニューイヤ―駅伝では、トヨタ紡織チームで各チームのエースがそろそろ最長区間

の四区二十一kmを任せられ、懸命の走りを見せてくれました。N・ウィリアムズ・ミルズ選手は「モスクワは、乳がんをもっている人のために走る」と言っていました。確実にたすきをつなぎ、完全復活を果たした糟谷選手の走りもきつと同じ病気で苦しんでいる人にとくさんの元気を届けたことと思います。何より私自身がたくさん元気をいただきました。

スポーツは見る人に感動と共に元気を与えることができる素晴らしいものです。私は教育も同じだと思えます。子どもたちに、生きていく元気、勇氣、力を、感動等と共に与えることができるならば、どれだけ素晴らしいことでしょう。私たち教職員にはその崇高な使命が与えられています。そのことに誇りを持って、今年も心新たに目の前の子どもたちと向き合っていきたいと思えました。

そのためには、安んじて職務に専念できる勤務環境が整備されていることが必要です。昨年末に、馳文部科学大臣と麻生財務大臣による予算折衝が行われ、懸命されていた加配定数の「機械的な削減」は見送られることになりました。全日教連の中央要請活動等が反映されたわけですが、厳しい状況には変わりありません。今後引き続き、学校現場の実情を伝え、加配定数の拡充はもちろん、基礎定数の改善をしっかりと訴えていく必要があると思えます。会員の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしく願います。皆様にとって今年一年が幸多き年となることを心から祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



平成28年度文部科学関係予算案の主な事項

【全日教連中央情勢報告No.19より】

12月24日、政府は平成28年度予算案を閣議決定した。文部科学関係予算案の主な事項は次の通りである。

◇ 教職員指導体制の充実（義務教育費国庫負担金）

- 1 創造性を育む学校教育の推進
 - ・小学校における専科指導の充実（140人）
（小学校英語、理科、体育等の専科指導、小中一貫校における専科指導の充実）
 - ・アクティブ・ラーニングの推進（50人）
（効果的な指導方法、カリキュラム開発等の研究の拠点となる学校に対する加配措置）
- 2 学校現場が抱える課題への対応
 - ・特別支援教育の充実（50人）
 - ・いじめ・不登校等への対応（50人）
 - ・貧困による教育格差の解消（50人）
 - ・外国人児童生徒等への日本語指導（25人）
 - ・統合校・小規模校への支援（60人）
- 3 チーム学校の推進による学校の組織的な教育力の充実
 - ・学校マネジメント機能の強化（80人）（主幹教諭、事務職員の充実）
 - ・養護教諭・栄養教諭等の充実（20人）

文部科学省は、教育の「質」と「数」の一体的強化を図るため、アクティブ・ラーニングによる授業の革新、諸課題への対応、チーム学校の推進等に3,040人の定数改善を要求していた。一方、財務省は、少子化に伴う基礎定数の自然減に加え、加配定数も含め9年間で37,000人の機械的な削減を主張していた。この機械的な削減に対し、全日教連は断固反対の声明を発し、内閣や国会議員、財務省に対し、中央要請行動を敢行した。

今回、示された予算案では、専科指導、いじめ・不登校、学校マネジメント等として新たな加配定数525人が配置される一方、自然減（3,100人）に加え、統廃合等による定数減が900人となった。チーム学校関連予算については増額が認められ、全日教連の主張が通ったものとなった。

全日教連は、今後も教職員の「質」と「数」の一体的強化が図られるように義務標準法の改正を伴う基礎定数の改善、義務教育費全額国庫負担、教育格差の是正等について関係諸機関に対して要望していく。

島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付
5,000円
- ②出産祝金の給付
5,000円
- ③永年勤続祝金の給付
5,000円
- ④病気見舞金の給付
5,000円
（傷病約1ヶ月の療養）
- ⑤災害見舞金の給付
（住宅又は家財の損害を受けたとき程度に応じて）
- ⑥死亡弔慰金
（会員・会員配偶者死亡）

上記の規定に該当するときは、ご本人または学校代表は、事務局まで連絡をお願いします。

電話0853-22-7762

島教協会員証特典のご紹介

「T・ジョイ出雲」（ゆめタウン出雲 東館3階）劇場売店にて島教協会員証を提示すると

売店人気ナンバー1の
ポップコーンセット
（通常750円）を
ワンコイン（500円）で
購入できます！

ぜひ、
劇場売店へお立ち寄りください

同伴者も同様の対応ができます。
たとえば
ペアセット（ポップコーンL+ドリンクR×2）通常1200円のところ、
ポップコーンセット（ポップコーンR+ドリンクR）2人分で特典価格
1,000円で購入できます。

魅力ある組織づくりが、新規加入者を増やしていくことにならると考えます。会員の皆様、知り合いや同じ学校勤務の教職員の皆様への声かけをお願いします。
各学校で、組織拡大のための会合が行われる際は、経費を助成しますので、事務局へご連絡ください。

島教協 組織拡大活動費の助成について

よりよい教育環境をめざす島教協の仲間とともに、固く手を取り合って、ともに健全な教育実践に邁進していきましょう。

今村 拓真さん（出雲市・今市小）
大田 真澄さん（出雲市・今市小）



歓迎！新規加入者